

取扱説明書（保証書付）

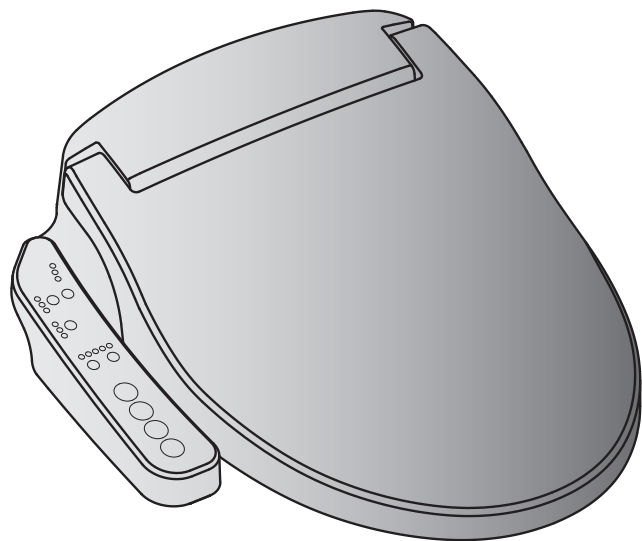
家庭用



アサヒ衛陶株式会社
温水洗浄便座

DLNC130LI
DLNC30LI
DLNC120LI
DLNC20LI

DLNC130LW
DLNC120LW



もくじ

安全上のご注意

1~3

必ず守る

取り付け前の確認

4

取り付け手順（設置工事）

5~7

ご使用前の確認

8

設置方法

各部の名前と働き

9~10

使いかた

11~12

脱臭機能

13

節電機能

13~14

凍結防止について

15~16

知っておいていただきたいこと

17

使用方法

お手入れ

18~20

仕様

21

故障かな?と思ったら

22~23

点検のお願い

23

重大事故防止のためのお願い

24

製品の長期使用に関する本体表示について

25

保証書

26

アフターサービスについて

裏表紙

その他



このたびはアサヒ衛陶製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
- この製品は家庭用です。業務用として使用できません。












安全上のご注意

ここに示した注意事項は、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は次のようになっています。

この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

- | |
|--|
|  警告 ：人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容 |
|  注意 ：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容 |

本文中の絵表示の意味です。

 は、してはいけない [禁止] の内容です。	 一般的禁止	 水場での使用禁止	 水ぬれ禁止
	 ぬれ手禁止	 分解禁止	 火気禁止
 は、必ず実行していただく [強制] の内容です。	 必ず行う	 アース線接続	 電源プラグを抜く

警告



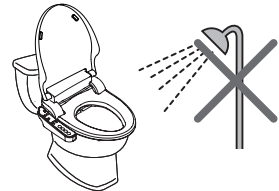
アースを確実に取り付ける

アース工事を行っているか確認してください。
故障や漏電の時に感電するおそれがあります。
アースの取り付けは、必ずお買い求めの取扱店・販売店、または電気工事店に相談してください。



浴室・シャワー室など湿気の多い場所に設置しない

火災や感電の原因になります。



故障したままで使い続けない

次のような時は、電源プラグを抜き、
止水栓を開けて給水を止めてください。

故障とは…

- ・配管や本体から水漏れしている
- ・異音、異臭がしている
- ・製品が異常に熱い
- ・製品にひびや割れが入っている
- ・製品から煙が出ている

故障したまま使い続けると、火災や感電、室内浸水の原因になります。すぐに使用を中止し、お買い求めの取扱店・販売店、またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターに連絡してください。



低温やけどに注意する

比較的低い温度でも長い時間皮膚の同じ場所に触れていると低温やけどのおそれがあります。

次のような方はご注意ください!

お子様、お年寄り、ご病気の方、
自分で温度調節のできない方、
皮膚の感覚の弱い方、眠気を誘う薬
(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された
方や深酒、疲労の激しい方。

※万が一、低温やけどをされたときは、
ただちに専門医の診断を受けてください。



化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けておられる方は、ご使用に際し医師に相談する

身体への著しい障害をまねくおそれがあります。

安全上のご注意

警告



水ぬれ
禁止

便座本体・コンセントに汚水や水を
かけない

火災や感電の原因になります。



ぬれ手
禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差し
しない

感電やけがをすることがあります。



禁止

雷が発生しているときは、電源プラグ
やコンセントにさわらない

感電のおそれがあります。



必ず行う

電源プラグの刃などについたほこりは
定期的に取り除く

トラッキングによる火災の原因になります。
乾いた布で拭いてください。



電源プラ
グを抜く

お手入れのときは電源プラグを抜く

感電や故障の原因になります。



火気禁止

たばこなどの火気類を近づけない

火災の原因になります。



分解禁止

分解や改造を絶対に行わない

火災や感電、けがの原因になります。
修理はお買い求めの取付店・販売店、または
アサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターにご連絡
ください。



必ず行う

新築・改修工事後や水道断水の復旧
後は必ず配管内の空気を抜く

配管内に空気が混入した状態で給水器具を
使用すると、器具、配管の破損や故障の原因と
なり、けがをしたり、漏水により建物、家財など
をぬらし、財産を損害するおそれがあります。



禁止

電源コードが傷んでいたら使用しない

電源コードや電源プラグ、コンセントが傷んで
いたら使用しないでください。感電・ショート・
火災の原因になります。



禁止

電源コードは束ねたまま使用しない

電源コードが断線、発熱し、火災の原因になり
ます。



必ず行う

電源は、交流 100V のコンセントを使用
する (50Hz/60Hz)

交流 200V・船舶などの電源で使用すると、感電
や過電流による火災の原因となります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える
使い方はしない

たこ足配線で定格を超えると、発熱や発火
の原因になります。



必ず行う

電源プラグはコンセントの奥までしっかり
差し込む

感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。



必ず行う

電源プラグの抜き差しは必ず電源プラグ
本体を持って行う

電源コードを引っ張ると感電やショート、発火
による火災の原因になります。



禁止

水道水以外は使用しない

中水道や工業用水、井戸水は使用しないで
ください。
ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれ
があります。
機械内部の腐食による感電や火災の原因に
なります。
異物が詰まって故障の原因になります。



禁止

車輦・船舶など、移動体への設置は
しない

火災や感電、故障の原因になります。
温水洗浄便座本体がはずれて落下し、けが
をする原因になります。

必ず守る

安全上のご注意

⚠ 注意



本体操作部に手をつけて座ったり、便ふたに寄りかからない

禁止

本体操作部や便ふたにもたれかかって過剰な荷重を加えると、破損や故障、けがの原因になります。お子様が使用するときには周りの人が注意してあげてください。



便座本体や本体操作部に乗らない

禁止

破損や故障、けがの原因になります。



必ず行う

トイレ用洗剤は早めに洗い流し、換気する

便器内の清掃にトイレ用洗剤（酸性、アルカリ性、塩素系洗剤）及び消毒剤などを使用するときは、早め（3分以内）に洗い流した後、便座、便ふたは開けたままにしてください。また便器についた洗剤は確実に拭き取ってください。（トイレ用洗剤などの気化ガスが便座本体に入り、電子回路などの腐食、故障の原因になります。）
また、トイレ用洗剤は便座につかないようにし、ついた場合は確実に拭き取ってください。



禁止

乾いた布やトイレットペーパーでこすらない

傷の原因になります。



必ず行う

長期間使用しないときは、電源プラグを抜き、便座本体内部の水を抜く

水が腐敗して皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。

水抜きの方法は⇒15~16ページ



禁止

薬品で拭いたり、かけたりしない

シンナー、ベンジン、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、薬品、クレンザーおよびナイロンたわしなどで拭いたり、殺虫剤、芳香剤、消臭剤を掛けたりしないでください。便座樹脂部がひび割れし、けがの原因になります。また、身体がかぶれることがあります。

お手入れの方法は⇒18~20ページ



必ず行う

外気温が 0℃以下になるとき、凍結による破損の予防を行うこと

本製品は寒冷地ではありません。凍結すると給水配管や本体内部が破損して、漏水の原因になります。暖房するなどしてトイレ室内を暖めてください。

凍結による破損の予防は⇒15~16ページ



禁止

配管に力を加えたり、給水ホースを折り曲げたりしない

漏水の原因になります。



必ず行う

水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める

室内浸水の原因になります。



禁止

便座カバーを取り付けない

着座センサーが誤作動し、正常に動作しないおそれがあります。



禁止

便座の右中央に触れたまま、操作パネルのスイッチを押さない

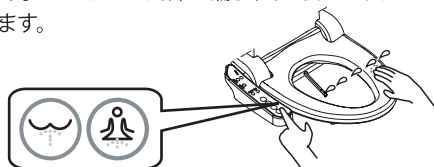
着座センサーが入り、ノズルから洗浄水が出て水をかぶったり、床を濡らすおそれがあります。



禁止

本体やノズルに小便をかけない

電子回路などの故障や変色の原因になります。



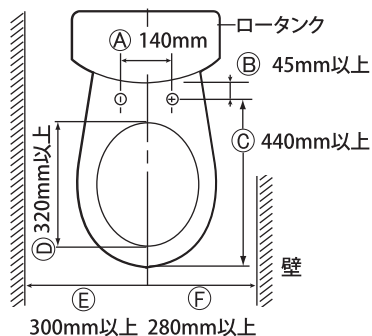
取り付け前の確認

の数字は説明しているページです。

1 取り付け便器について

- ・取り付け便器の寸法を確認します。

ⒶⒷⒸⒹⒺの必要寸法があるか、確認してください。必要寸法がないと、便座本体を取り付けることができません。レギュラーサイズ(標準)の便器に取り付ける場合、便座の先端が”便器の先端”よりも多少出っ張ったり、便器の縁が見える場合があります。



2 給水について

- ・使用水は必ず水道水(上水道)を使用してください。中水道や工業用水、井戸水は使用できません。

使用可能水道圧範囲は、0.069(流動時)～0.735MPa(静止時)(0.7～7.5kgf/cm²)です。0.069MPa(0.7kgf/cm²)以下の水圧では、水勢調節幅が狭くなったり、使用できない場合があります。

3 止水栓について

- ・止水栓が付いているか確認してください。
- ・止水栓が付いていない場合やフラッシュバルブ式の場合は、別途工事が必要となりますので、専門業者にご依頼ください。

4 アース端子について

- ・コンセントにアース端子が付いているか確認してください。
- ・アース端子がない場合は、電気工事店へご相談ください。
※アース線を取り付けないと、故障や漏電の際に感電するおそれがありますので、必ずアース線を取り付けてください。

設置方法

付属品・用意する工具

付属品

固定ボルト 2本	分岐金具セット パッキン(厚さ4mm) 1個 分岐金具 1個 パッキン(厚さ2mm) 1個	ベースプレート 1個
半丸パッキン 2個	スリップワッシャー 2個	給水ホース(100cm) 1本
固定ナット 2個	フレキホース(40cm) 1本 (DLNC30, 20のみ)	

用意する工具

- ・24mmのスパナ、またはモンキーレンチ
 - ・マイナスドライバー
- ※施工空間に見合ったものをお選びください。

取り付け手順 (設置工事)



警告



禁止

電源プラグは、設置工事が完了するまでは、コンセントに差し込まない。
電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で便座本体を立てかけたり、裏返すと発煙・空焚き・水漏れの原因になります。

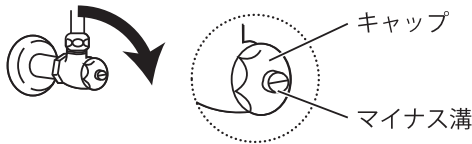
※ 本製品は水道水を使用して検査をしております。

本製品を取り出す際にホースやノズルから多少水滴が出るがありますが、故障ではありません。

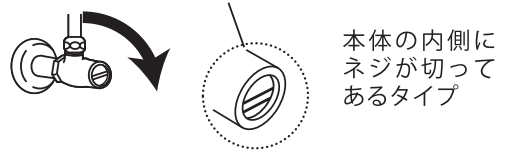
1 分岐金具の取り付け

① 止水栓を右に回して閉めた後、ロータンクの洗浄ハンドルを回して、給水されないことを確認してください。

■ 止水栓がマイナス溝タイプ

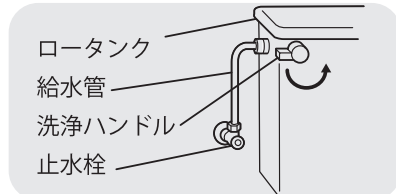
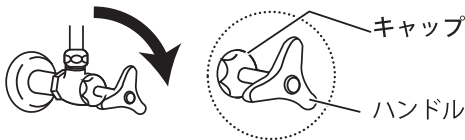


■ 止水栓が内ネジタイプ



本体の内側にネジが切っているタイプ

■ 止水栓がハンドルタイプ



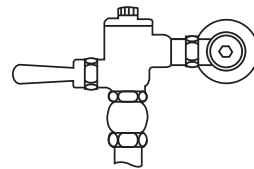
※ 便座の取付後は止水栓の開きを元の位置に戻します。閉める前に開き量の目印をつけておいてください。

止水栓がない場合

■ 寒冷地用給水管 (止水栓なし)



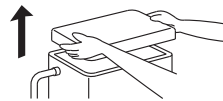
■ フラッシュバルブ式



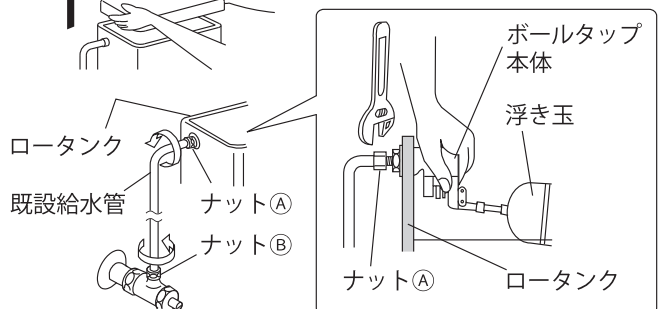
※ 寒冷地用給水管などの既設給水管に止水栓がない場合は、専用配管が必要になります。

※ フラッシュバルブ式の場合は、専用のアダプターが必要となりますので、専門業者にご依頼ください。

② ロータンクのふたをはずします。



③ ナット(A)、(B)をモンキーレンチなどの工具を使って緩め、既設給水管を取りはずします。



※ ボールタップ接続ネジ部を回さないように、ボールタップ本体根元部をしっかり握ってください。

※ ナットを緩めると、給水管の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

取り付け手順 (設置工事)



警告



必ず実行

ボールタップの浮き玉が内壁に干渉しないように注意する

取り付けの際、ボールタップの接続ネジ部を回してしまうと、浮き玉がタンクの内壁と干渉してロータンク内に水が入らなくなることがあります。ボールタップを元の位置に戻してください。

④ 分岐金具を止水栓に取り付けます。

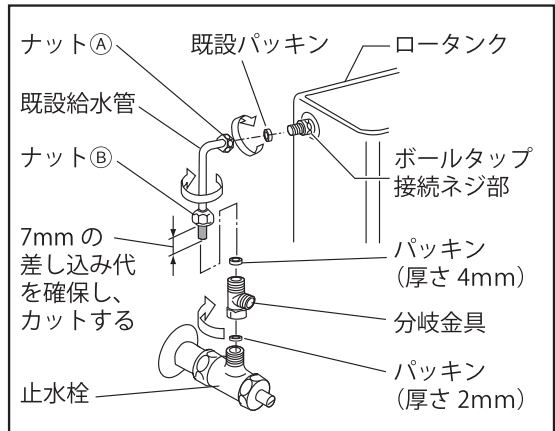
既設給水管を使用する場合

⑤ ロータンクの給水口と分岐金具の距離に合う長さに給水管の分岐金具側を切断し、給水管を取り付けてください。

(給水管の分岐金具への差し込み代を7mm確保してください。)

※ 給水管を切断したら、必ず水洗いなどをして切粉を取り除いてください。配管内に詰まると、故障の原因になります。

⑥ 金属配管のときはモンキーレンチなどの工具を使用して増し締めしてください。



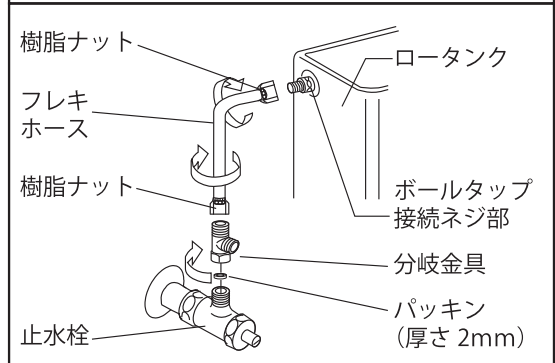
フレキホース (DLNC30、20のみ) を使用する場合

⑤ 分岐金具に付属のフレキホースを取り付けてください。

⑥ フレキホースをロータンクに取り付けてください。

※ フレキホースのナットは樹脂ナットです。
3 「給水ホースの取り付け」を参照して、**しっかりと手締めしてください。**

※ 厚さ4mmのパッキンは不要です。



ロータンク下側にフレキホースが接続されている場合

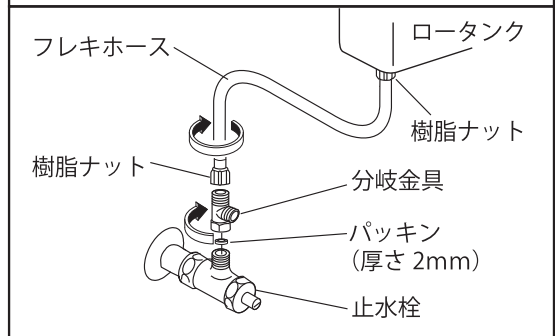
⑤ 分岐金具に付属のフレキホースを取り付けてください。

⑥ フレキホースをロータンクに取り付けてください。

※ フレキホースのナットは樹脂ナットです。
3 「給水ホースの取り付け」を参照して、**しっかりと手締めしてください。**

※ 厚さ4mmのパッキンは不要です。

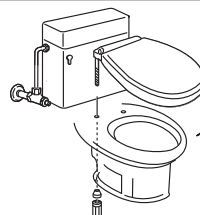
⑦ ロータンクのふたを元に戻します。



2 既存便座の取りはずし

① 便座を固定しているナットを手で回し、取りはずします。

② 便座を取りはずします。



※ 転居時の再使用など必要があれば、取りはずした便座、パッキン、ナットの保管をお勧めします。

取り付け手順 (設置工事)

3 給水ホースの取り付け-1

- ① 便座の給水口に給水ホースを取り付けてください。



※樹脂ねじは手締めです。ねじ山をきっちり合わせるため、初めに左に回します。

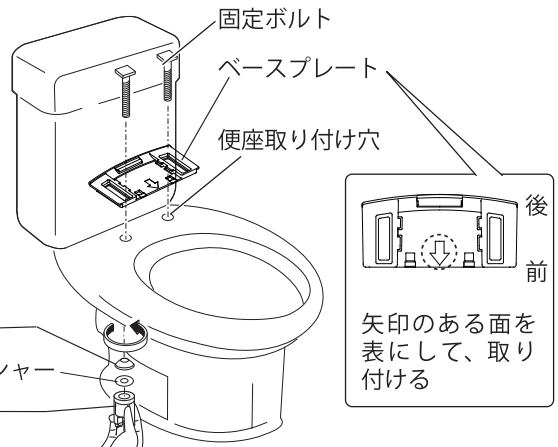


※奥に入り込む位置がねじ山の合った位置です。そこから右に回して、しっかりと手締めします。

4 ベースプレートの取り付け

- ① 便器の便座取り付け穴に合わせて、ベースプレートを便器に乗せてください。
② 固定ボルトをベースプレートと便座取り付け穴に差し込みます。
③ 固定ボルトに半丸パッキン、スリップワッシャーを通し、固定ナットを取り付け、仮締めします。

※ 本締めは便座本体を取り付けてから行います。

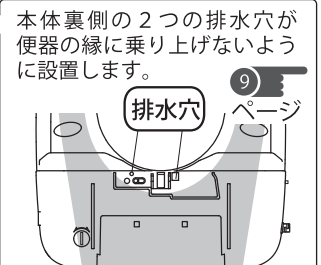


半丸パッキン
スリップワッシャー
固定ナット

5 温水洗浄便座の取り付け

- ① 便座本体とベースプレートの矢印を合わせ、便座をベースプレートの奥まで確実に差し込みます。便座本体を手前に引き、固定されたことを確認してください。
② 便器と便座本体の位置を下図のように調整してから固定ナットを本締めします。
※ 固定ナットは樹脂ボルトなので、しっかりと手締めしてください。
③ 便座本体を取り付けた後、本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。

※排水穴が便器の縁に乗り上げると、排水が便器を伝い、床面を浸水させるおそれがあります。



便座の先端を5~20mm程度便器より前に出します。

便器と便座の中心を揃え、飛び出しを左右均等にします。

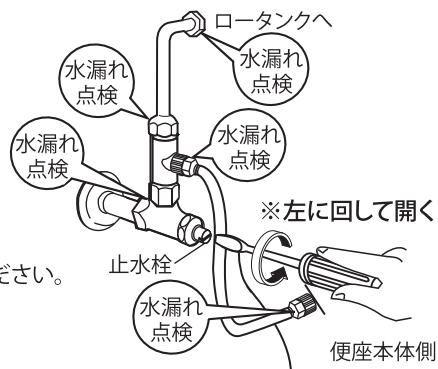
6 給水ホースの取り付け-2

- ① 便座と分岐金具を給水ホースでつないでください。
※ フレキホースのナットは樹脂ナットです。3「給水ホースの取り付け」を参照して、しっかりと手締めしてください。

ご使用前の確認

水漏れの点検

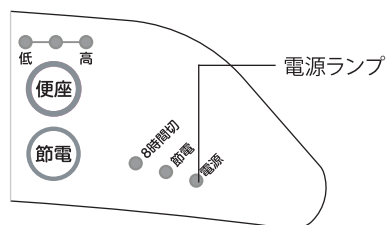
- ① 給水の前に、配管接続部にゆるみがないか再確認してください。
- ② 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないか確認してください。
※止水栓を閉める前と同じ水量位置に戻して調整してください。
- ③ ロータンクの水を排出し、確実に給水されるか確認してください。
- ④ 給水管接続部、水抜栓部より水漏れがないことを確認してください。
※水漏れしている場合は止水栓を閉め、再施工して水漏れを止めてください。



電源の点検

- ① アース線をコンセントのアース端子に取り付けてください。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
※操作パネルの電源ランプの点灯を確認してください。

電源プラグをコンセントに差し込んだ直後は、約10秒間マイコンが初期設定を行いますのでボタン操作を受け付けません。初期設定終了後に試運転を行ってください。



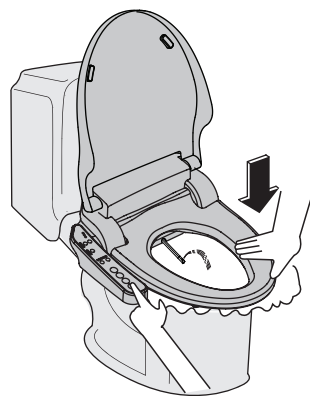
アース線
接続

- 安全のためアース線は確実に取り付けてください。
アース線を取り付けないと、故障や漏電の際に感電するおそれがあります。
アース線を取り付けるまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
※アースの取り付けは、必ずご購入の取扱店・販売店、または電気工事に相談してください。

試運転

試運転の前に、梱包用ビニール袋を便器と便座の間に挟んで、ノズルから洗浄水が吹き出す様子が確認できるようにしてください。

- ① 温水タンクへの給水
 - [おしりボタン]または[ビデボタン]を押すと温水タンクへ給水を始めます。給水中にブザー音が「ピッピッ」と鳴り、満水になると「ピー」と鳴り給水が止まります。
※温水タンクが満水にならないと洗浄機能が正常に動きません。
- ② 洗浄水の確認
 - 便座の着座センサー位置シール部を手で触ります。(着座センサーが入ります)着座を検知すると、水勢表示ランプが点灯します。
 - [おしりボタン]または[ビデボタン]を押して洗浄水が出ることを確認してください。
 - [止ボタン]を押すと洗浄水が止まります。
各機能が正しく作動するかを確認します。(11~12 ページ)
※洗浄前後、および洗浄停止中ノズル付近から水が落ちることがあります。これは洗浄ノズル内の残水、または温水タンク内の水が沸き上がったときの膨張水によるもので、故障ではありません。(23 ページ)



凍結防止について

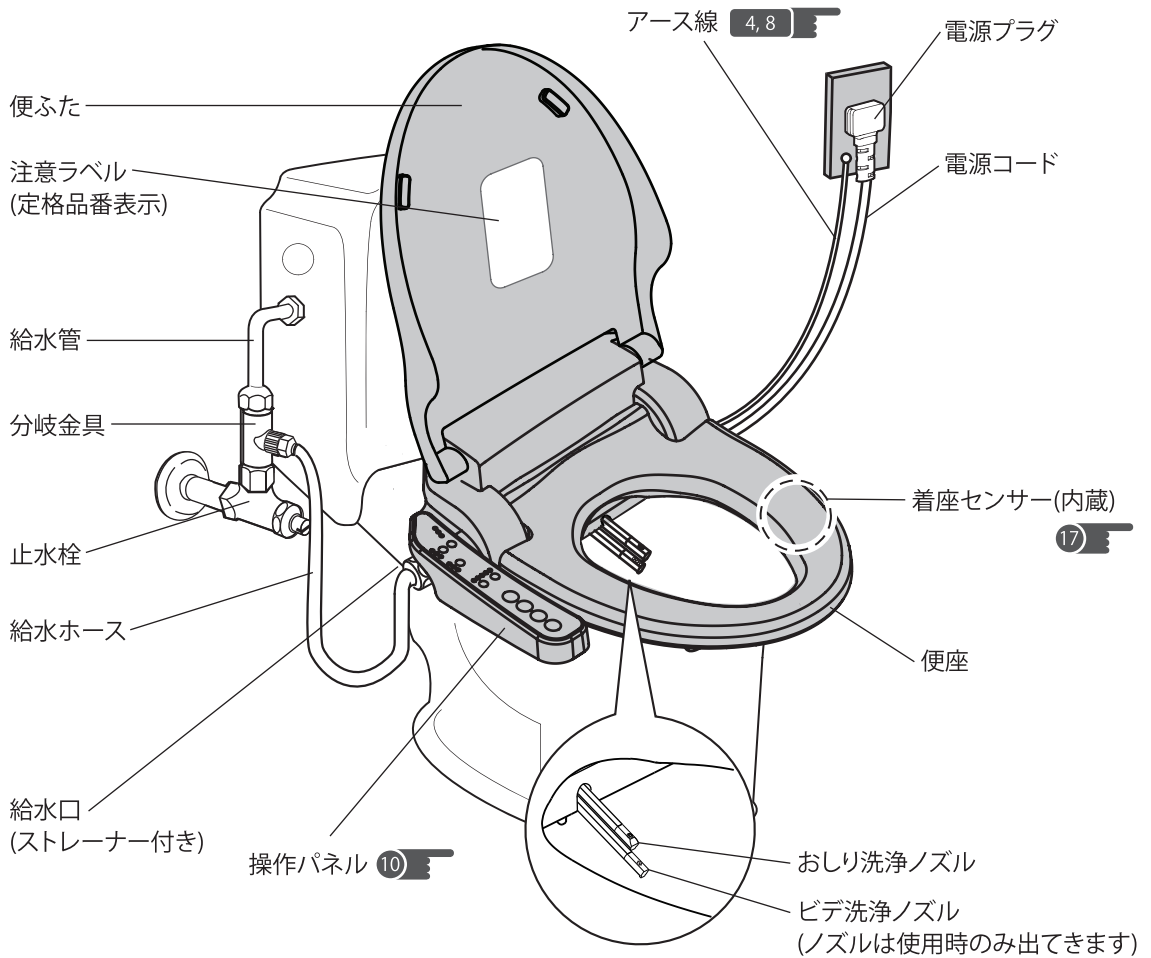
試運転後に凍結のおそれがある場合は、[温水温度調節ボタン]を押して「中」または「高」に設定し、節電機能の使用や、便座本体の電源を切らないでください。また設定後、使用開始するまでに期間があり、凍結のおそれがある場合は、「凍結防止について」(15~16 ページ)の項目に基づき水抜きをしてください。

便ふたカバー・便座カバーについて

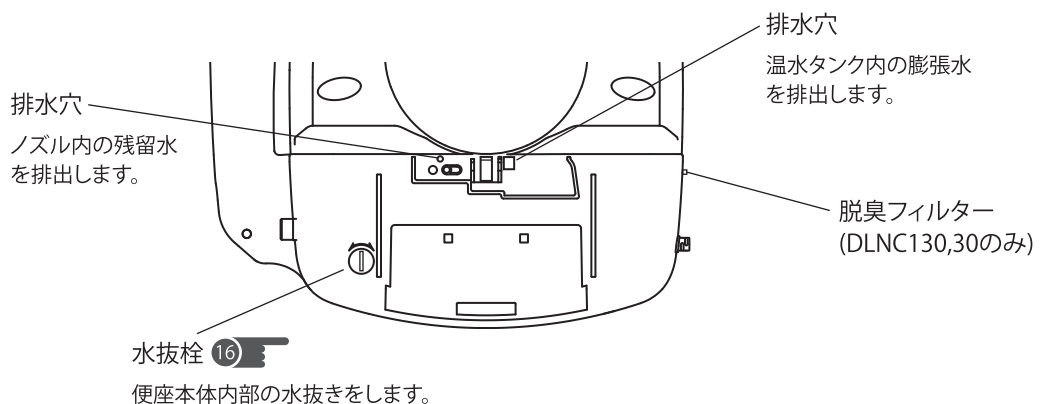
- 便ふたカバーを取り付けて使用すると、便ふたが開いた状態で静止しない場合があるため、使用しないでください。
- 便座カバーを取り付けて使用すると、着座センサーが効かない場合がありますので、使用しないでください。

各部の名前と働き

本体

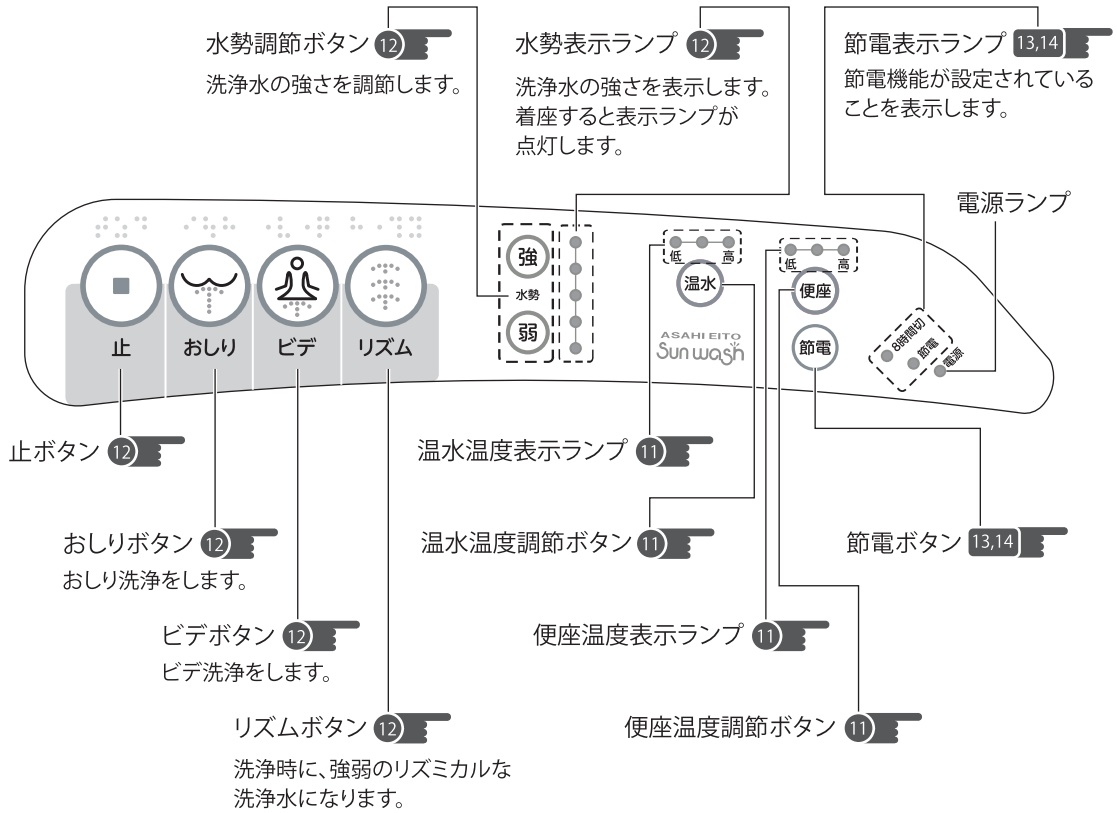


本体裏側



各部の名前と働き

操作パネル



使用方法

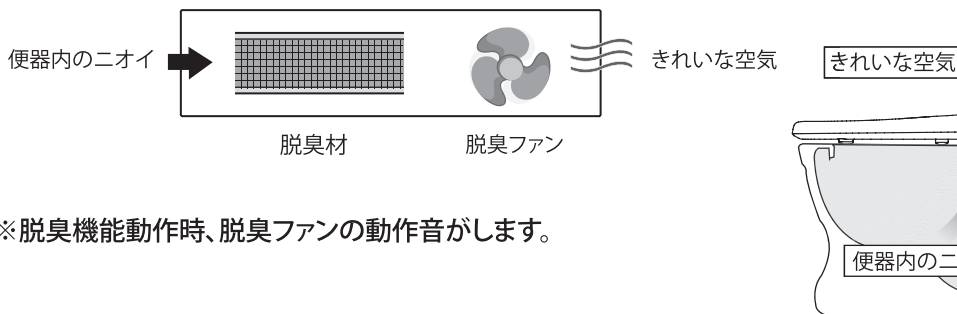
脱臭 (DLNC130,30のみ) 便座に座ると自動的に脱臭を開始します。

- ・ニオイをパワフルに分解する触媒脱臭を採用しています。 13 ページ
- ・着座すると脱臭が始まり、立ち上がった後約1分間、脱臭が続き、次の人にも配慮した脱臭機能です。

*触媒脱臭

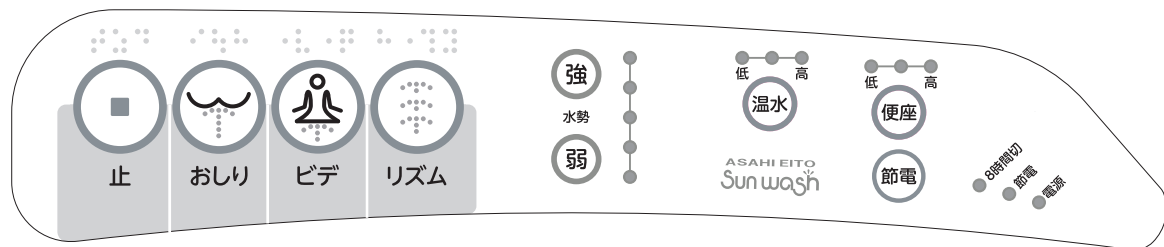
- ・便と尿には硫化水素、メチルメルカプタン、アンモニアの三大臭気成分が入っております。
- ・脱臭材で三大臭気成分を吸着させ、触媒でニオイを分解し、きれいな空気を室内に送ります。

ニオイを吸引 → 脱臭材でニオイを吸着 → 触媒でニオイを分解



※脱臭機能動作時、脱臭ファンの動作音がします。

使いかた



温水タンクへの給水 8 ページ

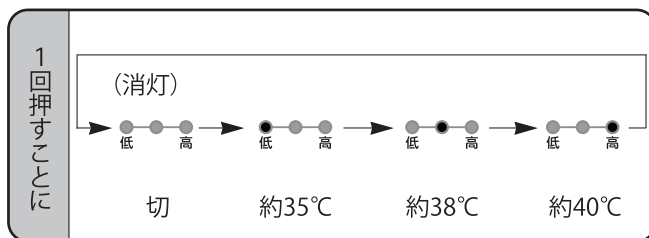
- ・製品を設置し、お使いになる前には温水タンクに給水してください。
[おしりボタン]または[ビデボタン]を押すと温水タンクへ給水を始めます。
給水中にブザー音が「ピッピッ」と鳴り、満水になると「ピー」と鳴り給水が止まります。
※温水タンクに給水される前に[おしりボタン]または[ビデボタン]を押すと、ノズルが出るのが遅れたり、設定した温度の温水が出なかったりします。

温水の温度を設定する

設置後温水の温度は「切」になっています。
お好みの温度に設定してください。

温水 を押して設定する

温水ランプが点灯していない場合、お湯が出ません。



・約5分後に設定した温度になります。(水温によって異なります。)

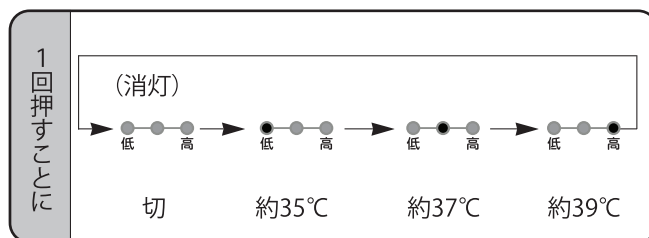
- ※1.周囲温度が20°Cに満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。
- ※2.給水温度が15°Cに満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。

便座温度を設定する

設置後便座の温度は「切」になっています。
お好みの温度に設定してください。

便座 を押して設定する。

便座ランプが点灯していない場合、便座は温まりません。



・約5分後に設定した温度になります。(室温によって異なります。)

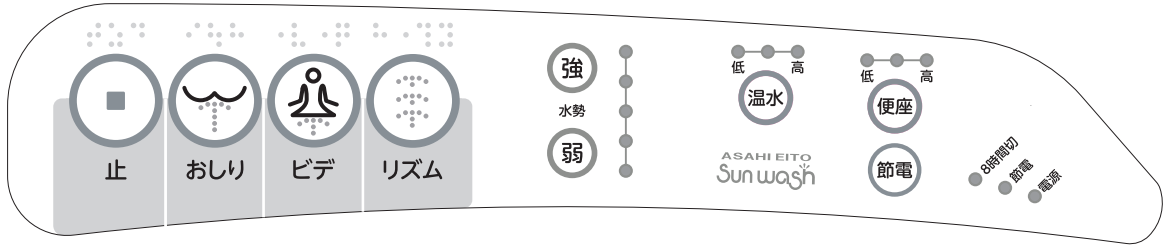
- ※1.周囲温度が20°Cに満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。
- ※2.便座上面を暖めることを目的としているため、側面や先端を触ると冷たく感じるがありますが、故障ではありません。

このような時は。。。

途中で停電になったら。。。?

停電が1秒以上続いたときや、電源プラグをコンセントから抜いたときは、温水温度・便座温度は「切」になりますので、もう一度設定し直してください。

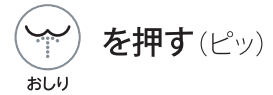
使いかた



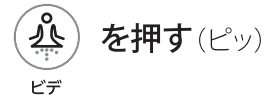
おしり洗浄・ビデ洗浄をする

- 1 座る** 便座の中央に座ります。
着座すると水勢表示ランプが点灯します。
脱臭を開始します。(DLNC130,30のみ)

- 2 洗う** おしり洗浄をする
・おしり洗浄は排便後の局部周辺に付着した汚物を洗い流す機能です。
洗浄時間は10秒～20秒を目安にご使用ください。 ※1



- ビデ洗浄をする
・ビデ洗浄は生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
洗浄時間は10秒～20秒を目安にご使用ください。 ※1



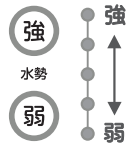
- ※1 ●長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。また、局部内は洗わないでください。
※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
●習慣的に便意を促すためには使用しないでください。また、洗浄しながら故意に排便しないでください。
●局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
●局部の治療・医療行為を受けている方のご使用については、医師の指示を守ってください。

おしり洗浄・ビデ洗浄の時に

水勢を調節する

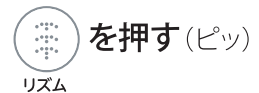
- 強くするときは  **を押す(ピッ)**
弱くするときは  **を押す(ピッ)**

着座すると最後に設定した水勢位置になります。(水勢表示ランプ点灯)初めて通電した時、または電源が切れて再度通電された時は水勢3段が表示されます。

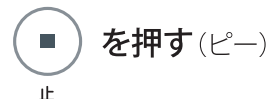


リズム洗浄をする

- ・おしり洗浄かビデ洗浄中に[リズムボタン]を押すと強弱のリズミカルな洗浄水で洗浄します。
もう一度押すと「リズム洗浄」が解除されます。



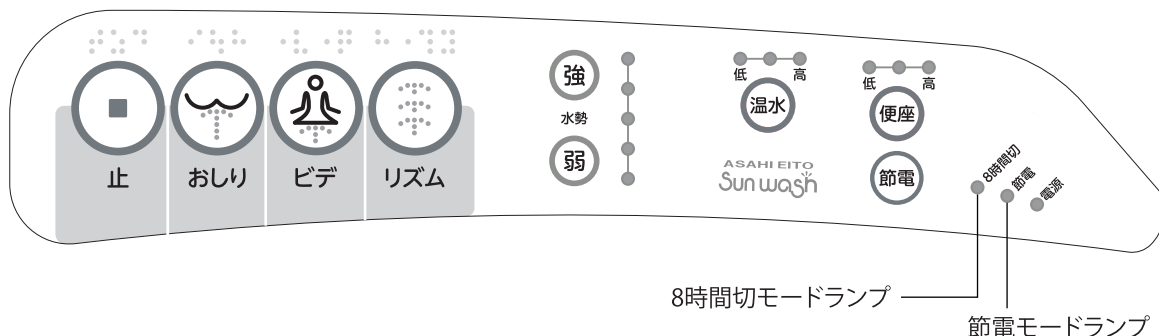
- 3 止める** おしり(ビデ)洗浄が停止します。
※1.[止ボタン]を押さないで便座から立ち上がると数秒間水が勢いよく出ることがあります。
※2.洗浄停止後、ノズル付近から水が落ちることがあります。
これはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。



脱臭機能 (DLNC130,30のみ)

- ・便座に座ると自動的に脱臭を開始します。(脱臭ファンの動作音がします。)
- ・脱臭運転は便座から立ち上がった後、約1分間運転し、自動的に止まります。
- ・便座に座り続けた場合は、約30分後に脱臭は止まります。

節電機能



8時間切モード・節電モードを使う

設置後、節電設定は「切」になっています。

お出かけやお休みの時など、長時間使用しない場合にお使いください。

節電 を押して設定する。

選 択	1回押すごとに設定切り替え		
	標準モード	8時間切モード	節電モード
ランプ表示	<input type="radio"/> 8時間切 <input type="radio"/> 節電	<input checked="" type="radio"/> 8時間切 <input type="radio"/> 節電	<input type="radio"/> 8時間切 <input checked="" type="radio"/> 節電
便座温度	設定温度	8時間 通電停止	便座の温度を 35℃に下げる※1
温水温度	設定温度	8時間 通電停止	設定温度

※1.周囲温度が20℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。

8時間切モード

- ・8時間切モード設定中は、温水・便座への通電を停止します。
着座すると約5分後に設定温度になります。立ち上がると再び通電を停止します。
- ・8時間切モードに設定した後、8時間が経過すると8時間切モードランプが消灯し、最後に設定した温水温度・便座温度に戻ります。

例:

9時に8時間切モードに設定すると、8時間後の17時に通電を開始します。



節電機能

節電モード

- ・ 節電モード設定中は、節電モードランプが点灯します。
- ・ 節電モード設定中、便座温度は35℃になります。着座すると設定温度になりますが、立ち上がると再び35℃に戻ります。
- ・ 温水温度は、設定温度のままです。

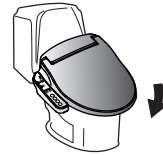
途中で解除したい時

節電 を押して、各表示ランプを消灯させます。

上手に節電

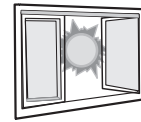
便ふたを閉じる

使用しないときは便ふたを閉じてください。
無駄な放熱を防ぎます。



夏は温度設定を低めに

夏は温水や便座温度を低めに設定しましょう。



節電機能を使用する

節電モードが設定されている間は便座の温度を下げ、8時間切モードが設定されている時間は通電を停止しますので、上手に使って節電しましょう。



このような時は。。。

- ・ 節電モード中に便座に座ったら。。。?
設定中の便座温度は35℃ですが、着座すると数分で設定温度になります。
立ち上がると再び35℃に戻ります。
- ・ 8時間切モード中に便座に座ったら。。。?
設定中は便座の通電を停止していますが、着座すると通電を開始し約5分後に設定温度になります。
立ち上がると再び通電を停止します。
- ・ 途中で停電になったら。。。?
停電が1秒以上続いたときや、電源プラグをコンセントから抜いたときは、節電機能が解除されますので、もう一度設定し直してください。

凍結防止について

凍結の恐れがある場合

本製品は寒冷地仕様ではありません。寒冷地でトイレの室温が0℃以下になるおそれのある場合や、長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグを抜いて便座本体内部の水抜きをしてください。

- 他の器具でトイレ内を暖房してください。
※暖房器具の注意書きに従って使用してください
暖房器具の熱源を近付けすぎると便座本体が変形するおそれがありますので、注意してください。
- 配管部は市販の凍結防止テープヒーターを取り付けてください。
- トイレ内を暖房できない場合は、下記の手順で水抜きをしてください。

水抜きの方法

1 電源プラグを抜く

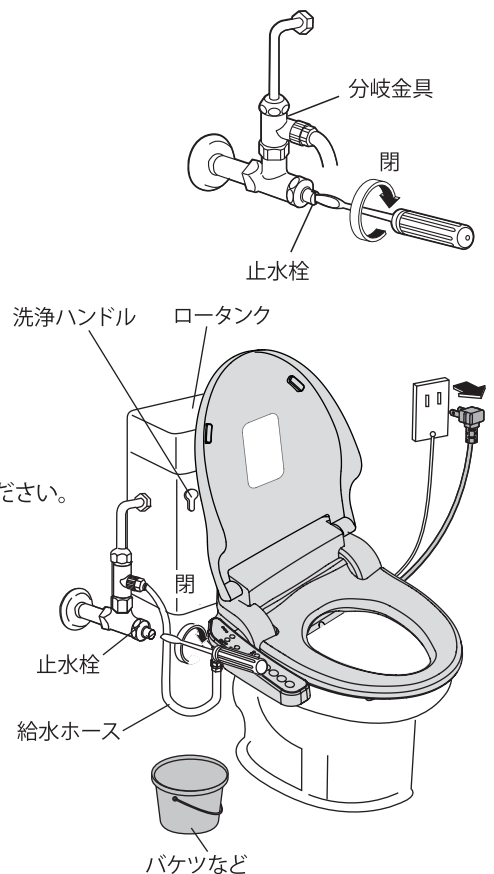
2 止水栓を閉める

マイナスドライバーで右方向に回します。

3 ロータンクの洗浄ハンドルを操作し、給水しないことを確認する

4 給水ホース内部の水抜きをする

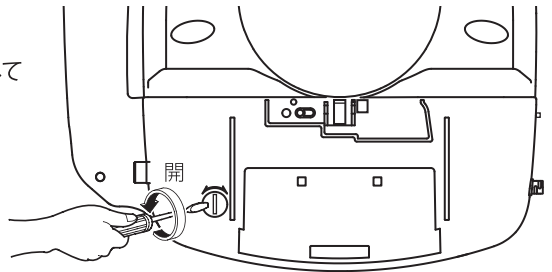
- ① 給水ホースを分岐金具から取り外し、水抜きをします。
- ② 水抜きした後、給水ホースを分岐金具に取り付けます。
※バケツなどの容器を用意し、給水ホース内の水を受けてください。



凍結防止について

5 水抜栓から便座本体内部(温水タンク)の水抜きをする

- ① 便座本体を便器から取りはずしてください。
※給水ホースに力を加えないでください。
- ② 便座底部の水抜栓をマイナスドライバーなどを使用して左方向に90度回して引き出してください。



* 左方向に回して開く

6 水抜栓を閉め便座を取り付ける

- ① 水抜き後、水抜栓を押し込んで右方向に90度回して締め付けてください。
- ② 便座本体を便器に取り付けてください。

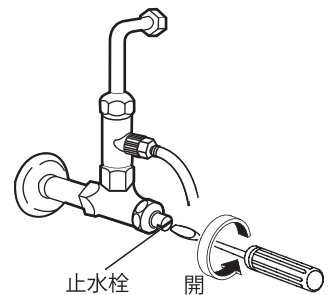
万が一凍結してしまったときは

温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水管接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。
※給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。給水ホースが破損するおそれがあります。

水抜き後の再通水の方法

1 止水栓を開ける

マイナスドライバーで左方向に回します。
水抜栓や給水ホースの接続部から水が漏れていないか確認してください。



2 電源プラグをコンセントに差し込む

- ① 操作パネルの電源ランプの点灯を確認してください。
※電源プラグをコンセントに差し込んだ直後は、約10秒間初期設定を行いますのでボタン操作は受け付けません。8 ページ
- ② 温水温度、便座温度の設定をしてください。

3 または を押す

自動的に給水されます。
給水中にブザー音が「ピッピッ」と鳴り、満水になると「ピー」と鳴り給水が止まります。



知っておいていただきたいこと

着座センサー

- ・本製品は着座センサーがついてます。着座すると水勢表示ランプが点灯します。便座に座らないとおしり洗浄やビデ洗浄はできません。
 - ・洗浄機能使用中に立ち上がったり体を浮かせたときは、着座センサーが「切」になり、洗浄機能が停止します。
- ※便座カバーを取り付けて使用すると、着座センサーが効かなくなる場合がありますので、使用しないでください。
- ※便座本体のお手入れ時に着座を検知する場合があります。お手入れ前は必ず電源プラグをコンセントから外して行ってください。

お子様を使用するときは周りの方が注意してください。
便器内にはまったり、指をはさんでけがをするおそれがあります。

切り忘れ防止タイマー

- ・各洗浄機能が作動してから約2分で自動的に洗浄機能が停止します。

洗浄水の温度

- ・季節や洗浄水の水勢にもよりますが、洗浄し続けると約40秒後に洗浄水の温度がぬるくなります。

水温が低いとき

- ・洗浄中に温水温度が低くなる場合があります。約5分間洗浄をとめて、温水温度が上昇してから使用してください。

便座の温度

- ・周辺温度が20℃に満たない場合は、所定の温度に達しないことがあります。

低温やけど防止

- ・長時間便座に座り続けると低温やけどになる場合があります。
- ・便座に座ってから、約1時間後に自動的に便座ヒーターが切れます。
(水勢表示ランプが3個点滅し、操作パネルのボタンを押しても動作しません。)
- 立ち上がり、再度着座すると自動的に最後に設定した便座温度に戻ります。

使用中の音

- ・使用中に「シュー」という音がすることがありますが、これは便座本体内の温水タンクに水が供給される際の音ですので、異常ではありません。

マイコンの初期設定

- ・停電から復帰したときや、電源プラグをコンセントに差し込んだ直後は、約10秒間初期設定を行いますので、操作を受け付けません。

水道圧が低いとき

- ・水道圧が0.069MPa (0.7kgf/cm²) より低いと、水勢を「強」にしても十分な水勢が得られないことがあります。
- ・十分な水勢が得られていても、他の蛇口で水道を使うことで、水道圧が0.069MPa (0.7kgf/cm²) より低くなると、十分な水勢が得られないことがあります。



お手入れ

⚠ 警告

必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お手入れしてください。



⚠ 警告

お手入れが終了したら、電源プラグは、コンセントの奥までしっかり差込んでください。

⚠ 注意

便座の汚れはやわらかい布、またはうすめた台所用中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。

- ・シンナー、ベンジン、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、薬品で拭いたり、殺虫剤、芳香剤、消臭剤を掛けないでください。便座樹脂部がひび割れし、けがの原因になります。
- ・酸性、アルカリ性洗剤や塩素系洗剤は使用しないでください。気化ガスが便座本体内部に入り、電子回路などの腐食、故障の原因になります。
- ・クレンザーや磨き粉が入っている洗剤やナイロンたわしは使用しないでください。変色、変形、傷の原因になります。
- ・乾いた布やトイレットペーパーなどでこすらないでください。傷の原因になります。

⚠ 注意

便器内を洗剤でお手入れするときは…

- ・便器内の清掃にトイレ用洗剤および消毒剤などを使用するときは、早め（3分以内）に洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしてください。（便器用洗剤などの気化ガスが便座本体内部に入り、電子回路などの故障の原因になります。）便座についてしまったら、確実に拭き取ってください。便座樹脂部がひび割れし、けがの原因になります。

便座本体

便座本体を取りはずして、裏側や便器の上面も掃除してください。

1 便座本体を取り外す

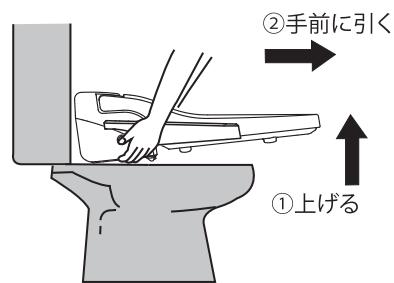
- ・便座本体を少し上げ、手前に引いてください。

2 お手入れする

- ・便器面を掃除してください。
※給水ホースなどに無理な力がかからないようにしてください。

3 便座本体を取り付ける

- ① 便座本体とベースプレートの矢印を合わせてください。
- ② ベースプレートの奥まで確実に差し込んでください。
便座を手前に引き、固定されたか確認してください。



その他

お手入れ

便ふた

便ふたを取り外してお手入れすることができます。
便ふたを閉じた状態で取り外し、取り付けを行ってください。

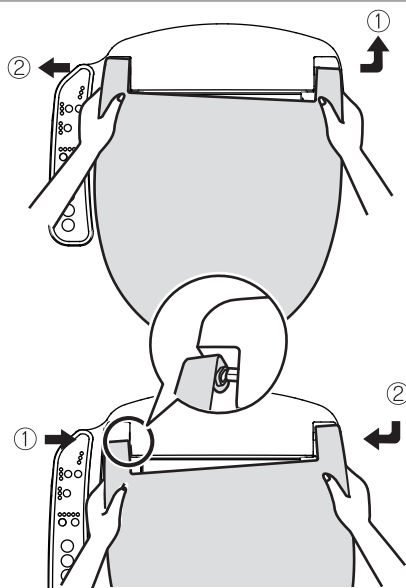
1 便ふたを取り外す

- ① 便ふたの右軸を広げながら、ヒンジ部を軸から外し、持ち上げてください。
- ② 左軸を外してください。
※指をはさまないように注意してください。

2 お手入れをする

3 便ふたを取り付ける

- ① 外した状態と同じ角度で、左軸を先に取り付けてください。
- ② 便ふたの右側を広げながら右軸を取り付けてください。



ストレーナー

ストレーナーが詰まると洗浄水の水勢が弱くなりますので、お手入れしてください。

1 止水栓を閉める

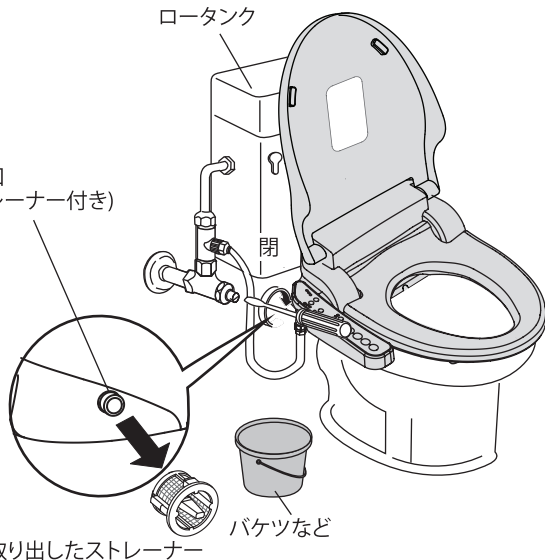
マイナスドライバーで右方向に回します。

2 ストレーナーを掃除する

(給水口の下にバケツなどを置いてください。)

- ① 給水ホースを給水口より外してください。
- ② 給水口内にあるストレーナーをラジオペンチなどを使って取り出してください。
- ③ 水洗いしながら歯ブラシなどを使って掃除してください。
- ④ ストレーナーの取付方向を間違えないように奥まで差し込んでください。
- ⑤ 給水ホースを給水口にに取り付けてください。

給水口
(ストレーナー付き)



3 止水栓を開ける

マイナスドライバーで左方向に回します。

※給水ホースの接続部から水が漏れていないか確認してください。

便座本体内部の水抜き

便座本体内部の水抜きをして沈殿物を排出してください。

ノズルの穴が詰まる原因となります。(3ヶ月に1回程度)

水抜きの方法 [15~16](#) ページ

お手入れ

ノズル(おしり、ビデ)

ノズルが汚れると、洗浄水が横に飛び散ったり、ノズルの動きが悪くなりますので、必ずお手入れしてください。

1 ノズルを手で引っ張る

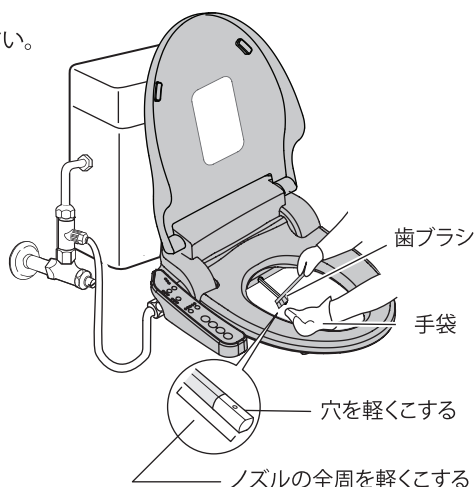
手袋をしてノズルの先端下側の突起に指をかけて引っ張ってください。

2 汚れを落とす

ノズルをしっかり持ち、歯ブラシなどでノズル本体・ノズル先端の全周、およびノズルの先端の穴を軽くこすって汚れを落とします。(手をはなすとノズルは元に戻ります。)

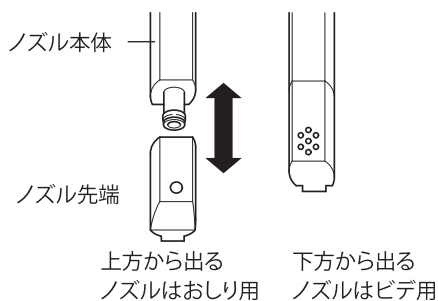
ノズル先端のお手入れ

- ① ノズルの先端をひねらないようにまっすぐ引き、取り外して水洗いをしてください。
(手をはなすとノズルは元に戻ります。)
※ノズル先端を便器内に落とさないように注意してください。
- ② ノズル先端をノズル本体にまっすぐ差込んで取り付けてください。
※おしり用・ビデ用を間違えないようにしてください。
正常に洗浄することが出来なくなります。



3 ノズルの動きを確認する

ノズルを2~3回手で前後させてスムーズに動くことを確認してください。



脱臭フィルター (DLNC130,30のみ)

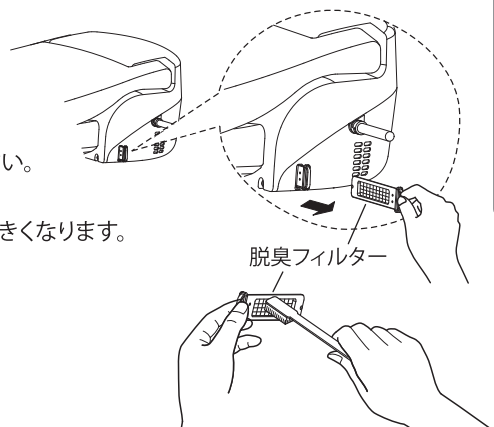
1 脱臭フィルターを取り出す

2 脱臭フィルターを掃除する

脱臭フィルターの網部のほこりを歯ブラシなどで取り除いてください。
(1ヶ月に1回程度)
※脱臭フィルターにほこりがつきまると、脱臭ファンの動作音が大きくなります。

3 脱臭フィルターを差し込む

- ※1.脱臭剤の寿命は約7年です。
- ※2.脱臭剤は消耗部品です。交換に要する費用は有償となります。
- ※3.脱臭剤の交換はお客様ご自身では出来ません。
交換を希望される場合は、お買い求めの取扱店・販売店・またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターにお問い合わせください。



その他

仕 様

品 番		DLNC120LI DLNC20LI	DLNC120LW	DLNC130LI DLNC30LI	DLNC130LW
定 格	電 源	交流100V 50~60Hz(共用)			
	消費電力	560W(本体505W 便座55W)			
年間消費電力 ※1		171(237)kWh/年			
省エネ区分		貯湯式			
製品寸法		467mm×奥行534mm×高さ155mm			
給水方法		水道直結式			
製品質量		約4.3kg		約4.4kg	
電源コード		長さ 約1.2m			
使用水圧範囲 ※2		0.069MPa(流動時)~0.735MPa(静止時)			
温水洗浄	おしり洗浄	1,000mL/分 1穴			
	ビデ洗浄	1,000mL/分 7穴			
	水勢調整	5段階			
	タンク容量	0.83L			
	温水温度	マイコン制御、切・約35~40℃ 3段階			
	安全装置	フロート式水位センサー、温度過昇防止器、温度ヒューズ			
脱臭装置	脱臭方式	-		触媒脱臭 ※3	
	運転制御	-		マイコン制御(着座センサー連動)	
暖房便座	表面温度	マイコン制御、切・約35~39℃ 3段階			
	安全装置	温度ヒューズ			
その他の安全装置		漏電遮断器(内蔵)、着座センサー(内蔵)			

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

本製品は家庭用です。業務用として使用できません。

※1 省エネ法（2012年度基準）に基づいて、便座サイズや湯沸し方式などの種類別の算定式により、4人家族（男性2人・女性2人）で1日あたりおしり洗浄4回、ビデ洗浄8回、男性小用4回で使用した場合を基準に算出したものです。

タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間と使用率で算定しております。

（ ）内はタイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力となります。

※2 使用水圧範囲以外では、十分な性能が得られない場合があります。

※3 脱臭剤の性能維持期間は約7年です。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思われることがありましたら、修理を依頼される前に次のことを調べてください。

症 状	確認するところ	処 置	参 照 ページ
電源ランプが点灯しない	・電源プラグがコンセントからぬけていませんか。	・電源プラグをコンセントに奥まで差し込む。	8
洗浄水が出ない	・水道が断水していませんか。 ・止水栓が閉まっていますか。 ・着座センサーが正しく動作していますか。 ・便座に座っていますか。 ・市販品の便座カバーをつけていませんか。	・通水されるまで待つ。 ・止水栓を開く。 ・着座センサーの上に座る。 ・座って使用する。 ・便座カバーを取り外して使用する。	8、16 17 12、17 8、17
洗浄水が弱い	・水圧が普段より低くなっていませんか。 ※0.069MPa(0.7kgf/cm ²)以下 ・止水栓が十分に開いていますか。 ・給水口のストレーナーが詰まっていますか。 ・ノズルが詰まっていますか。	・他の水道の同時使用をなるべくさける。 ・止水栓を十分に開ける。 ・ストレーナーを掃除する。 ・ノズルを掃除する。	17 8、16 19 20
便座が温かくない、または冷たい	・便座温度表示ランプが「低」や「消灯」になっていませんか。 ・8時間切モードになっていませんか。 ・トイレ室内の温度が低いではありませんか。	・[便座温度調節ボタン]を押して「高」側に設定する。 ・8時間切モードを解除する。 ・周囲温度が20℃に「満たない」場合は所定の温度に達しないことがあります。	11 14 11、17
洗浄水が温かくない、または冷たい	・温水温度表示ランプが「低」や「消灯」になっていませんか。 ・8時間切モードになっていませんか。 ・トイレ室内の温度が低いではありませんか。 ・給水温度が低いではありませんか。	・[温水温度調節ボタン]を押して「高」側に設定する。 ・8時間切モードを解除する。 ・周囲温度が20℃に「満たない」場合は所定の温度に達しないことがあります。 ・給水温度が15℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。	11 14 11、17 11
使用中に温水温度が低くなる	—	・温水になるまで洗浄を止めて5分ほどお待ちください。	17
便座本体ががたつく	・ベースプレートの固定ナットがゆるんでいませんか。 ・便座本体がベースプレートから外れていませんか。	・固定ナットを締める。 ・ベースプレートの奥まで確実に差し込む。	7 7
便座や便ふたが開いたときに静止しない	・市販品の便座カバー、便ふたカバーがついていませんか。	・便座カバー、便ふたカバーを取り外して使用する。	8、17
水勢表示ランプが3個点滅する	・市販品の便座カバーがついていませんか。 ・長時間、便座に座り続けていませんか。	・便座カバーを取り外して使用する。 ・便座から立ち上がる。	8、17 17
温水温度表示ランプ、または便座温度表示ランプが点滅する	—	・お買い求めの販売店、取付店、またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターに修理を依頼してください。	—
脱臭効果が感じられない(DLNC130、30のみ)	・脱臭フィルターの網部にほこりがついていませんか。	・ほこりを取り除く。	20

上記のことをお調べになり、それでも異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの取扱店・販売店・またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターに連絡してください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思われることがありましたら、修理を依頼される前に次のことを調べてください。

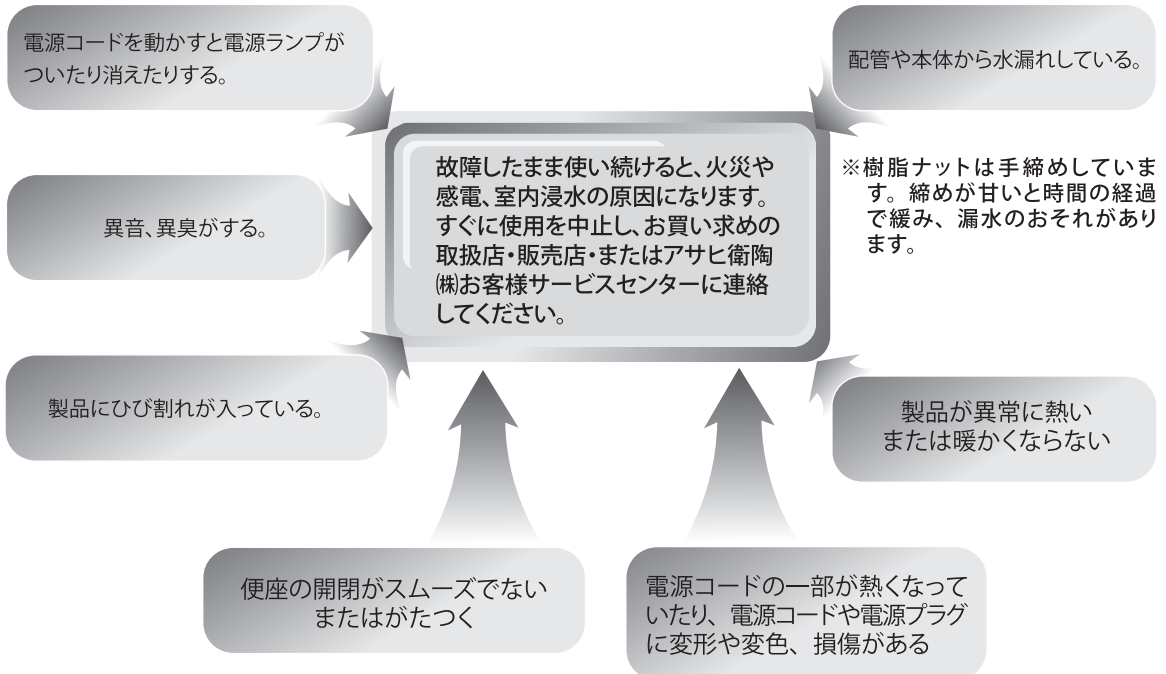
症 状	確認するところ	処 置	参 照 ページ
水が漏れる	・接続部のナットが緩んでいませんか。	・漏れている箇所のナットを締め直す。 ・パッキンがきちつとはまっているか確認する。 ・パッキンが劣化していないか確認する。	8 8 8
ノズル付近から水が漏れる	・洗浄前後、ノズル付近から水が落ちますか。 ・洗浄停止中、ノズル付近から水が落ちますか。	・洗浄前後、ノズル付近から1~2分水が落ちるのは、ノズル内の残水によるもので故障ではありません。 ・洗浄停止中、ノズル付近から水が落ちるのは、温水タンクの水が沸き上がった時の膨張水によるもので故障ではありません。	8、9、12 8、9

上記のことをお調べになり、それでも異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの取扱店・販売店・またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターに連絡してください。

点検のお願い

日常点検

安全に長くご愛用頂くために、日頃から点検を行ってください。
次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。



重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

故障したままのご使用や長年のご使用は、電子・電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります



定期的な点検をおすすめします

安心してご使用いただくため、定期的な点検(有料)をおすすめします。また、長期間(10年以上)ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

故障したままで使わないでください

火災や感電、室内漏水の原因になります。異常に気づいたら、すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

温水洗浄便座・暖房便座を安全に使う3つのポイント

1

まず自分で安全チェックを

2

異常があれば販売店、工事店またはメーカーにご連絡を

3

長期間お使いの製品は点検と買い替えを

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

- 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある
- 便座コードがねじれたり、便座で挟み込んだりしている
- 便座にひびや割れがある
- 便座が異常に熱いときや、冷たいときがある
- 製品から水漏れしている(内部の電子・電気部品が被水)
- 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている(内部の電子・電気部品が被水)
- 電源コードが熱くなっている
- 電源プラグの差込部が発熱・変色している

次のような症状は、火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、すぐに販売店、工事店またはメーカーへご連絡してください。

一般社団法人 日本レストルーム工業会

〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18 <http://www.sanitary-net.com>

※2015年4月より、(一社)日本衛生設備機器工業会と(一社)温水洗浄便座工業会が合併し、(一社)日本レストルーム工業会になりました。

安心・安全
に使ってね!



製品の長期使用に関する本体表示について

本体への表示内容

・製造年(便ふた裏の注意ラベルに西暦4桁で表示しています。)

2017年製 No.123456

・注意喚起(便ふた裏の注意ラベルに下記の表記を表示しています。)



【想定安全使用期間】10年

想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

想定安全使用期間とは

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。無償保証期間とは異なります。

また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

※一般家庭用以外(事務所、病院等、不特定多数の方が使用される場所)に設置された場合は、使用条件により、想定安全使用期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

標準的な使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V 50/60Hz	機器の定格電圧/周波数による
	温度	20℃	JIS A 4422による
	給水温度・給水圧	15℃ 0.2MPa	JIS A 4422による
付加条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	JIS A 4422による
想定条件	4人家族(男性2人・女性2人)において 大便:1回/日・人、小便男性:4回/日・人 小便女性:4回/日・人の使用回数で、1回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ15秒間とする。		JIS A 4422による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

経年劣化とは

長期間にわたる使用や処置に伴い生じる劣化をいいます。

保証書

温水洗浄便座

保証期間	品番	保証期間(ご購入後)
	DLNC130/DLNC120/DLNC30/DLNC20	1 力 年
ご購入日	平成 年 月 日	
お客様	ご住所:	
	お名前:	電話:
販売店 または 取付店	住所:	
	店名:	電話:

上欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合に無料修理をさせていただきます。

(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買上げの販売店または取付店、またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターにお申し付けください。

(ロ) 出張修理に際しては本書をご提示ください。

2. 保証期間内でも、次の場合には原則として有料修理になります。

(イ) 使用上の不注意、過失による不具合および不当な修理や改造、分解、破壊行為による故障および損傷。

(ロ) 正しい施工がされなかった場合。

(ハ) お取付後の移設、輸送、落下に起因する故障および損傷。

(ニ) 車輛・船舶等に搭載された場合に生じる故障および損傷。

(ホ) 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する当該品の不具合。

(ヘ) ねずみなどの動物や昆虫が噛んだり、それらの死骸の製品内への残留物による不具合。

(ト) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化水素ガス等)、凍結、異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)、CISPR(国際無線障害特別委員会)規格外の特種ノイズ等による故障および損傷。

(チ) 消耗品類(パッキン、脱臭カートリッジ、乾電池など)の経年劣化や摩耗劣化による不具合。

(リ) 駅や商業施設など使用回数の多い場所に設置された場合による故障および損傷。

(ヌ) 結露が原因による故障および損傷。

(ル) 指定以外の水質(水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水)の給水時における異物の詰まりなどによる故障および損傷。

(ヲ) ゴミを噛んだり、水アカが固着したことによる不具合。

(ワ) 汚れなど通常のお手入れ不足による不具合。

(カ) 色あせ等の経年劣化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。

(コ) 実用化されている技術では予測が不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合。

(ク) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。

(ケ) 本書のご提示が無い場合。

(ク) 本書にご購入日、お客様名、販売店または取付店名の記入の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

4. 本書は、再発行致しませんので大切に保管してください。

* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。

したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様サービスセンターにお問い合わせください。



アサヒ衛陶株式会社

〒540-0028 大阪府大阪市中央区常盤町1丁目3-8
中央大通 FN ビル 10F

アフターサービスについて

保証書と保証期間について

保証書は、取付店・販売店で所定事項を記入の上お渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は、ご購入日から1年間です。

保証期間内でも有償になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

補修用性能部品の保有年数について

補修用性能部品（製品の性能維持に不可欠な部品で使用期間中に取り替えの必要が発生する可能性の高いもの）の供給期間は製造中止後6年です。

商品の交換について

無償修理により交換された部品・製品は、アサヒ衛陶(株)の所有となります。

修理を依頼されるときは

もう一度説明書をよくお読みいただき、それでもなお異常のあるときはお買い求めの取付店・販売店、またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターに修理をご依頼ください。
※修理に際しては保証書が必要となります。保証書の規定に従って修理をさせていただきます。

● 連絡していただきたい内容

- | | |
|----------------|------------------|
| ①住所、氏名、電話番号 | ④購入日が記載された保証書 |
| ②商品名 | ⑤故障内容、異常の状況 |
| ③品番 | 出来るだけ詳しくご説明ください。 |
| 例) DLNC130LI | ⑥訪問希望日 |
| 便ふた内側のラベル右上に表示 | |



保証期間が過ぎているときは

修理をすることで使用できる商品については、ご希望により有償にて修理をさせていただきます。

※修理代金

技術料 + **部品代** + **出張料** で構成されています。

製品に関するご意見・お問い合わせは、下記お客様サービスセンターにお申し付けください。

アサヒ衛陶株式会社
お客様サービスセンター



0120-525-139

携帯電話・PHS・一部のIP電話等のご利用は…



0570-031-505 [有料]

受付時間 9:00～17:00

(年末年始・GW・夏期・土日／祝祭日を除く)

お客様からお預かりした個人情報は関連法令及び社内諸規程に基づき、慎重かつ適切にお取り扱いします。



アサヒ衛陶株式会社

ホームページ：http://www.asahieito.co.jp/